多世代で考える在宅ホスピス～生活の場で引き継がれる想い～

第25回 日本在宅ホスピス協会 全国大会 in 福井

HOME HOSPICE ASSOCIATION

日時 2022年12月3日(土)/4日(日)

主催 日本在宅ホスピス協会
事務局 医療法人社団オレンジ オレンジホームケアクリニック

参加費
Day.1　医師/歯科医師/薬剤師_3,000円
上記以外の職種_2,000円、学生_1,000円
(※アーカイブ配信あり)
Day.2　無料

Day.1
要事前申し込み
↑アクセス↑

Day.1　12月3日(土)

第一部　医療を軸に在宅ホスピスについて語る

特別講演(VTR) 10:00～10:30

ケアタウン小平クリニック 名誉院長 山崎 章郎(やまざき ふみお) 氏
著書「病院で死ぬということ」、「家で死ぬということ」他。

ゲスト講演 10:30～11:00

医療法人社団悠翔会 理事長・診療部長 佐々木 淳(ささき じゅん) 氏
全国各地で21のクリニック運営。在宅総合診療を実践。

大会長講演 11:00～11:30

オレンジホームケアクリニック 院長 宮武 寛知(みやたけ ひろとも) 氏
在宅医療に関する研究論文にて雑誌掲載「Medicine」他。

会長講演 11:30～12:00

小笠原内科/岐阜在宅ケアクリニック 院長 小笠原 文雄(おがさわら ぶんゆう) 氏
在宅看取り約1800人。著書「なんとめでたいご臨終」他。

特別対談 12:00～12:30

小笠原 文雄(おがさわら ぶんゆう) 氏 × 佐々木 淳(ささき じゅん) 氏 × 宮武 寛知(みやたけ ひろとも) 氏 ×

医療法人オレンジグループ 代表 紅谷 浩之(べにや ひろゆき) 氏
目標は誰もがハッピーに暮らせるまちづくり。

第二部　生活の場でのものがたり共有

シンポジウム 14:00～16:10　進行役:大会長 宮武寛知(オレンジホームケアクリニック 院長)

株式会社ぐるんとびー 代表取締役 菅原 健介(すがはら けんすけ) 氏
2020年アジア太平洋地域「高齢者ケア・イノベーションアワード」にて最優秀賞を受賞。

ほっちのロッヂ 文化環境設計士 唐川 恵美子(からかわ えみこ) 氏
医療福祉ケアを担うスタッフやアーティストともに作品制作、地域活動を展開中。

株式会社Happy 代表取締役 首藤 義敬(しゅとう よしひろ) 氏
多世代介護付きシェアハウス「はっぴーの家ろっけん」にて新しい仮説を実践しながら検証中。

【後援】福井県、福井市、一般社団法人 福井県医師会、一般社団法人 福井市医師会、公益社団法人 福井県看護協会 会長 江守直美
福井県訪問看護ステーション連絡協議会、一般社団法人 福井県薬剤師会、公益社団法人 福井県理学療法士会、一般社団法人
福井県作業療法士会、一般社団法人 福井県社会福祉士会、一般社団法人 福井県介護福祉士会、公益社団法人 福井県栄養士会
【助成】公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

第三部　社会的処方とポジティヴヘルス 生老病死を地域住民の手に取り戻そう

対談 16:20〜17:20

慶應義塾大学大学院
健康マネジメント研究科 教授 **堀田 聰子（ほった さとこ）氏**

より人間的で持続可能なケアと地域づくりに向けた移行の支援および加速に取組む。

(株)ReDo 代表取締役
医療法人社団オレンジ 理事 **藤岡 聡子（ふじおか さとこ）氏**

診療所と大きな台所があるところ「ほっちのロッヂ」共同代表を務め、軽井沢町全体のまちづくりに奔走中。

市民公開講座 in 福井

ハイブリッド開催(オンライン配信＋会場)

場所 **フェニックス・プラザ 地下大会議室A**
福井市田原1丁目13-6

定員 **90名 程度（先着順）**　参加費 **無料**

Day.2
要事前申し込み
↑アクセス↑

Day.2　12月4日(日)

第一部　小笠原先生！在宅ホスピスってなんですか？

特別講演 10:55〜11:25

日本在宅ホスピス協会 会長 **小笠原 文雄（おがさわら ぶんゆう）氏**

1,800人以上の在宅看取りを実現。「なんとめでたいご臨終」など著書多数。

第二部　著書『月夜の森の梟』発刊から1年 私が今思うこと

特別対談 11:25〜12:25 ※お二人は会場には直接お越しになられません。ご了承ください。

夫・藤田宜永氏の闘病と死を巡って書かれたエッセイ『月夜の森の梟』が大きな反響を呼んでいる作家の小池真理子氏を特別ゲストに迎え、元NHKアナウンサーで厚生労働大臣も務めた小宮山洋子氏が聴き手となり、在宅ホスピスのあり方などについて考えます。

話し手 **小池 真理子（こいけ まりこ）氏**　(作家)

1952年、東京生まれ。成蹊大学文学部卒業。89年『妻の女友達』で日本推理作家協会賞〈短編および連作短編集部門〉、96年『恋』で直木賞、98年『欲望』で島清恋愛文学賞、2006年『虹の彼方』で柴田錬三郎賞、12年『無花果の森』で芸術選奨文部科学大臣賞、13年『沈黙のひと』で吉川英治文学賞を受賞。21年、日本ミステリー文学大賞受賞。作品に『モンローが死んだ日』『異形のものたち』『死の島』『神よ憐れみたまえ』『アナベル・リイ』ほか多数。

聴き手 **小宮山 洋子（こみやま ようこ）氏**　(元NHKアナウンサー/元厚生労働大臣)

1972年 成城大学文芸学部国文科卒業。1972〜1998年 NHKでアナウンサー、解説委員。1998〜2012年 参議院議員(1期)、衆議院議員(4期)、2010〜2012年 厚生労働副大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣(少子化対策)。2018年11月 旭日重光章を受章。

お問い合わせ 医療法人社団オレンジ オレンジホームケアクリニック
TEL 0776-21-3333 (受付時間: 平日9:00〜17:00)
MAIL forum291@orangeclinic.jp

大会公式
Facebookページ